



和泉センター 現場パート  
まつした ゆうこ  
**松下 裕子**

2017年、和泉物流センターの立ち上げ時から株式会社物研に勤める松下裕子。現在も同センターの現場パートとして、さまざまな商品を日本各地へ発送する準備をしている。きめ細かい作業に定評があり、誰もが見逃してしまいがちな商品の汚れや傷などを発見する松下は、これまでどのような経験を積んできたのだろうか。入社当時の苦労や業務で気をつけている点などを聞きながら、その足跡をたどる。

**必死に練習を重ねたラッピング**

前職は、自宅近くの会社でプリザーブドフラワーを製作していた。もともと細かい作業が得意な松下にとって、花にワイヤをかけるなど、繊細さが求められる仕事はまったく苦ではなく、毎日の作業を楽しくこなしていたのだ。ところが、会社が移転することになり、通勤が難しくなってしまう。転職先を探しはじめたとき、出会ったのが物研だ。和泉センターがオープンすると知り、さっそく応募。無事採用さ

れたのである。入社後は商品の梱入れから入荷、検品、ラッピング、出荷まで、一連の作業を担当した。倉庫内作業は初めてで、ラッピングの経験はもろろんない。当初は百貨店包みどころか、リボンすらきれいに添えることができなかった。苦労しつつも経験者に教えてもらい、自宅でも練習を重ねた。地道な努力の甲斐もあり、今ではラッピングも一通りできるようになったという。

**お客様のレビューをもとに業務改善**

現在は、高級な商品が多い海外ブランドのショップをはじめ、壊れやすい食器、雑貨など、検品判断が難しい6社ほどの商品を担当している。作業は2〜3名のチームで行う。基本的にいつも同じメンバーのため、息もぴったりだ。忙しいときは1人が梱包している間に、ほかの1人が次の商品をピックする。手が空く人がいないように、あうんの呼吸で手際よく動くのだ。松下たちが欠かさないのは、注文し



たお客様のレビューを確認すること。「梱包がきれい」「早い発送でした」など、高評価をいただくと嬉しくもあり、励みにもなる。一方、ミスをしてもらうレビューへ反映される。そのときは、ほかのパート社員と共有し、ミスが発生した経緯を分析するのだ。「二度と同じ過ちを犯さないように、意見を出し合って業務改善を目指しています」。

**忙しいときほど、平常心を保つ**

作業のなかで一番難しいのは、ショップによってラッピングの仕方が



異なる点だ。1日で複数のショップの商品を扱うため、それぞれに合わせてうまく頭を切り替えなければならぬ。松下にとって、今でも思い出す心臓がぎゅつと縮むような失敗経験がある。それは、繁忙期でのこと。早く作業しなくてはと焦ってしまい、お客様から指示を受けていたにもかかわらず、思い込みで別の会社のラッピングをしてしまったのだ。しかも、気がついたのは自宅で一息ついたとき。その瞬間、一気に冷や汗が出た。急いで事

務所に連絡したものの、出荷後だったために変更もできず、後日お客様からは「ラッピング代を払っているのだから、しっかりとお願いします」とお叱りを受けた。

以降は、自身がミスを起こしやすいタイミングと傾向をしつかりと認識し、慌てているときこそ平常心を保つように心がけている。ほかにも、松下が扱う商品は壊れやすい食器が多い。ひびが入ったり、割れたりしないように細心の注意を払って仕事に臨んでいるのだ。

**常に持ち続けている向上心**

「いつも和泉センターを影で支えてくれている」と、周囲に評価してもらうこともある。しかし、松下は自身を「作業が遅く、機械の操作にも疎い」と自己分析しているという。

「若い人のように新しい分野にも積極的にチャレンジして、幅広い業務をこなせるようになっていきたいと思っています」。



▲ほっと一息♪

現状に満足せず、常に成長を望む松下は決してその歩みを止めることはない。今後も誠心誠意仕事に取り組み、多くのことを吸収していこう。

\\次号もお楽しみに!!

**次号予告 vol.29**

Interview 野瀬恵里さん

Contents  
年末特別企画  
～年忘れ🎁マイベストニュース発表会～  
12月誕生日紹介



# ありがとうを伝えよう

～2022年ラストver～

今年のありがとうは今年のうちに!今回はそんな皆さんへの感謝の思いを集めました!

## ～社内編～

FROM 山田 喜美香さん  
本社



TO 全社員の皆さんへ

今年ご契約いただいたお客様が3営業所各所でいらっしゃいましたが、みなさんのおかげでスムーズにスタートできています!

バタバタと契約が決まって急な入荷や出荷もありますが、しっかり対応していただき、お客様にもご満足いただいています。これからも、もっとたくさんのお客様を迎えられるよう営業を頑張りますので、「もういいよ〜……」とは言わず(笑)お力添えよろしくお願いたします!

FROM 芝下 美穂さん  
大阪物流センター



TO 全社員の皆さんへ

今年、勤続年数で賞をいただきました。皆さんと楽しく仕事ができているからだと思います。これからも皆さんとコミュニケーションを取りながら頑張りたいと思います。ありがとうございます!

FROM 藤井 愛さん  
和泉物流センター

TO ピッキング作業の方々へ

入荷・出荷の事務処理を担当していますが、その仕事をお客様につなげてくれているのはピッキング作業の方々です。いつも急な「入荷・出荷作業」の対応をしていただきありがとうございます!

FROM 吉田 美子さん  
本社

TO 家族の皆へ

仕事で疲れて、夕ご飯がすごく質素になっても文句も言わず食べてくれてありがとう。休日も率先して家事をしてくれるから、すごく助かっています。一緒に出掛けることで楽しい時間を過ごせて、気持ちもリフレッシュできます。いつか東京ディズニーランドに行きたいね。これからもよろしくです。

FROM 後藤 直美さん  
本社

TO 家族の皆へ

普段はなかなか言えませんが、良い機会をいただいたのでこの場を借りて感謝を伝えたいと思います。いつも本当にありがとう!これからも色々あると思うけど、よろしくね!最近家族全員が揃うのが難しくなってきたので、普通に皆で気兼ねなくご飯を食べに行きたいですね。

TO 旦那と息子へ

2人目の子を出産してから仕事を再開して、心配してくれたり会社のこと聞いてくれたりしてくれてありがとう。毎日家事を手伝って赤ちゃんと遊んでくれてます。「職場で楽しいこといっぱい作ってね〜!」といつも励ましてくれます。息子は「また飲み会があれば僕を連れて行ってね〜」と言っていました。皆優しいから頑張れます。

ありがとう!これから行きたい場所は富士山です!



# 趣味の世界

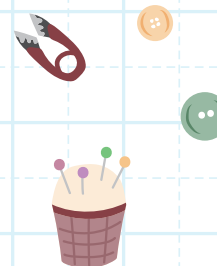
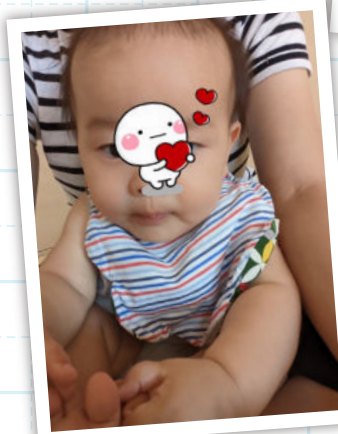
このコーナーでは、意外と知らない皆さんの趣味について教えていただきます。今回は、坂井さんの趣味の世界を覗いてみましょう!

私の趣味は

ソーイングです!

坂井 桂子さん  
和泉物流センター

長女が4歳のときのダンス発表会で、衣装を手作りすることになったのがきっかけでハマりました!ミシンをかけたり、針でチクチクしたりしていると心が落ち着きます。完成して子どもが喜ぶと、とても嬉しかったことを思い出します♪  
月日が流れ……今は孫のために何を作ろうかと考えるのが楽しい時間です。100均でも材料が揃うし、オススメ!



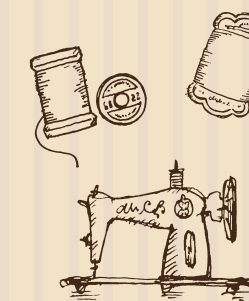
## 手縫いやミシンはいつから?

### ●針の発達

原始時代には、石や骨で作られたキリ状の針で皮や布に穴をあけ、そこに紐を通して、綴じ合わせていたそうです。  
16世紀ごろから、手縫いをお手本にして、縫う機械の研究が盛んにされるようになりました。

### ●ミシンの発明

1589年に英国のウィリアム・リーが妻の毛糸を編むのをみて、機械編みを考えたのが、ミシンの研究の始まりです。  
1790年にイギリスのトーマス・セントにより、ミシンの条件を備えた機械が発明されました。



# Happy Birthday

11月がお誕生日の皆さんです!おめでとうございます!

西野 梨沙さん

キム・デイン・チエンさん

千田 祥子さん

